

令和6年度 学校評価自己評価表(年度当初)

三次市立青河小学校

【評価の妥当性】 : 妥当である→○, 妥当でない→×, どちらともいえない→△

【継続の必要性】 : 引き続き取り組むとよい→A, 評価項目又は指標を変える方がよい→B, どちらともいえない→C

【評価の観点】 : ① 目標, 指標, 計画等の設定の適切さ ② 達成状況評価(自己評価)の適切さ ③ 目標達成に向けた取組の適切さ ④ 評価結果の分析の適切さ ⑤ 次年度へ向けての改善方策の適切さ

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目(評価方法)	担当	自己評価				評価の妥当性	継続の必要性	理由・意見	備考	
						時期	目標値	到達度	達成値					評価
確かな学力	基礎・基本の定着と、それを基盤とした思考力・判断力・表現力の育成を図る。	〈基礎・基本の確実な定着〉 基礎・基本の学力(読解力, 計算力)の向上を図る。(教務部)	授業, きらきらタイム, 個別指導等において, 既習内容の反復学習を行う。	・きらきらタイム及び個別指導を通して, 「分かった。」「できた。」と感じた児童を50%以上にする。(児童アンケート)	教務部	7月								
				・国語科・算数科の単元末において, 「読解力, 計算力」の正答率が全国平均値以上の児童を65%以上にする。(テストの結果)		12月								
		〈思考力・判断力・表現力の向上〉 筋道立てて考え, 情報を整理し, 相手や目的に応じて豊かに表現する力を高める。(教務部)	算数科における「算数用語を使った『かく』言語活動を取り入れた授業づくり」についての研究を深める。	・「かく力検定」を学期末に行い, 児童の状況を把握すると共に「つまずき」に対して指導を行う。「かく」力(レベル)が向上した児童を80%以上にする。	教務部	7月								
				・算数科におけるノートの上について, 肯定的な評価をする児童を70%以上にする。		12月								
						7月								
						12月								
豊かな心	児童一人一人の自感の高揚を図る。	〈自立・トライ〉 目標をもって学校生活等へのぞみ, 協働しながら目標達成に努め, 次につなげていく児童を育てる。(生徒指導部)	学校生活や学校行事等の目標を, 個人または学級を立て, 振り返る活動を行い, 達成に向けた指導・支援・評価を行う。	・振り返りで, 目標に向かって取り組んだ」と答えた児童の割合を90%以上, 「目標が達成できた」と答えた児童を90%以上にする。(児童アンケート)	生徒指導部	7月								
				・「あおがホタルプログラム」の活動を通して, 「青河の良さを感じ, 地域を大切にしたい。」と答えた児童を90%以上にする。(児童アンケート)		12月								
		〈自立・トライ〉 「考え, 進んで行動する力」(主体性)を育てる。(生徒指導部)	縦割り班で活動する清掃・給食当番活動において, 自ら進んで仕事ができるよう指導・支援・評価を行う。	・「縦割り班活動の仕事ですすんで取り組んだ」と答えた児童を90%以上にする。(児童アンケート・指導者評価)	生徒指導部	7月								
						12月								
						7月								
						12月								
健やかな体	たくましく生きるための体力・耐力を育成する。	〈体力の向上〉 目標をもって継続して取り組み, 体力を向上させる児童を育てる。(生徒指導部)	新体力テストの目標を設定させ, 全校児童の課題である走力, 跳力, 筋力の向上に重点を置いた指導を行う。	・新体力テスト(年2回)において, 全国の平均値を超えた児童の割合を, 「長座体前屈」で80%, 「50m走」「握力」で70%以上にする。(新体力テストの結果)	生徒指導部	7月								
				・「体力アップチャレンジカード」を通じた体力づくりの効果をj感じている児童を90%以上にする。(児童アンケート)		12月								
						7月								
						12月								
信頼される学校	学校信頼度の向上を図り, 学校力の充実を図る。	〈特色ある取組〉 信頼され, 開かれた学校づくりに向けた連携と情報発信を行う。(総務部)	学校教育目標及び小中一貫教育目標の達成に向けた取組と発表を行い, 児童生徒の変容の姿を発信し, 地域や保護者との連携を深める。	・児童発表の場(アウトプット)を学期1回以上つくり, それに対する評価を行う。 ・「学校は, 家庭連携や子どもへの対応を適切に行っています。」の項目を80%以上にする。(保護者アンケート)	総務部	7月								
						12月								
		〈組織力の向上〉 働き方改革の意義を踏まえた取組の推進と協働する学校体制を確立する。(総務部)	学校教育目標や小中一貫教育目標の達成に向け, 組織力を向上させる。	・「他の職員と協働して仕事をすすめ, 支え合うチームづくりに努めている。」「働き方改革」を意識しながら仕事をしている。」と答える職員を85%以上にする。(職員アンケート)		7月								
						12月								

■ 評価の基準 : 4・・・達成度100%以上 3・・・達成度80%以上~100%未満 2・・・達成度60%以上~80%未満 1・・・達成度60%未満